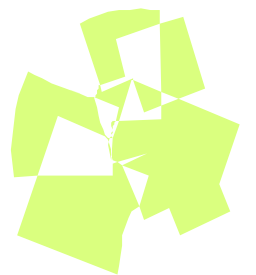


第 80 回

日本臨床外科学会総会が

11月22日(木)～24日(土) に
グランドプリンスホテル新高輪
国際館パミールにて開催されます。

当院からは、
血管外科センター長 今井 崇裕 先生が
学術発表されますのでご紹介します。





The 80th Annual Congress of Japan Surgical Association

第80回日本臨床外科学会総会



安全な外科手術手技の確立

会長 窪田 敬一 獨協医科大学第二外科

2018年11月22日(木) ▶ 24日(土)
グランドプリンスホテル新高輪 国際館パミール

演題募集期間 2018年4月4日(水) ▶ 6月13日(水)

<http://www.c-linkage.co.jp/jsa80/>

術後血栓症予防と地場産業復興を目的として新たに開発した
着圧ストッキングの下肢静脈還流への影響 -多施設共同研究-

○今井崇裕¹ 仁科 健² 山中一朗² 三和千里³ 多林伸起⁴ 田村大和⁵
市橋成夫⁶ 吉川公彦⁶

IMAI TAKAHIRO¹ NISHINA TAKESHI² YAMANAKA KAZUO²
MIWA SENRI³ TABAYASHI NOBUOKI⁴ TAMURA YAMATO⁵
ICHIHASHI SHIGEO⁶ KICHIKAWA KIMIHIKO⁶

¹ 西の京病院 血管外科

Department of Vascular Surgery, Nishinokyo Hospital, Nara, Japan

² 奈良県総合医療センター 心臓血管外科

Department of Cardiovascular Surgery, Nara Prefecture General Medical Center

³ 天理よろづ相談所病院 心臓血管外科

Department of Cardiovascular Surgery, Tenri Hospital, Nara, Japan

⁴ 奈良県立医科大学 胸部・心臓血管外科

Department of Thoracic and Cardiovascular Surgery, Nara Medical University
Hospital

⁵ 奈良県西和医療センター 心臓血管外科

Department of Cardiovascular Surgery, Nara Prefectural Seiwa Medical Center

⁶ 奈良県立医科大学 放射線科

Department of Radiology, Nara Medical University Hospital



抄録

【はじめに】 静脈血栓症予防に着圧ストッキングを使用した圧迫療法は有効な手段である。しかしながら、国内で圧迫療法の有効性を検討する報告は少ない。奈良県は国内随一の靴下産地であることから、県下の医療機関と協力して、市販用ハイソックスタイプの着圧ストッキングを製作して、ストッキング着用効果を多施設共同研究として集積した。当院の看護研究倫理委員会に研究目的・要旨を申請し、承認を得た。

【対象】 2017年1-4月。対象は多施設健常ボランティア30名(男女比14/16 34.5歳)。

【方法】 製品仕様は綿・ポリエチレン・ポリウレタン。製法は丸編み。編み機はG525H-200N(ロナティ社, イタリア)。設計着圧はAMI3037-10(株式会社エイエムアイ・テクノ, 東京)で測定。10回洗濯試験を行い、ダミー平均圧迫力は足関節/腓腹部:32.2/16.8hpaで維持。被験者にストッキングを着用してもらい立位と仰臥位で足関節部, 腓腹部の下肢周囲径と圧迫圧を測定。圧迫圧はピコプレスを使用。血流は座位で超音波パルスドプラ法により膝窩静脈最高血流速度(PV)と血管径(VD)を測定。官能検査はアンケート方式で、既存の医療用弾性ストッキングと比較した。

【結果】 着用後下肢周囲径は減少, 膝窩静脈PVは増加。官能検査は既存のストッキングと同程度であった。

【結論】 薬事承認を受けた医療用弾性ストッキングではないが、圧迫療法は下肢静脈還流の促進に有効であると思われた。